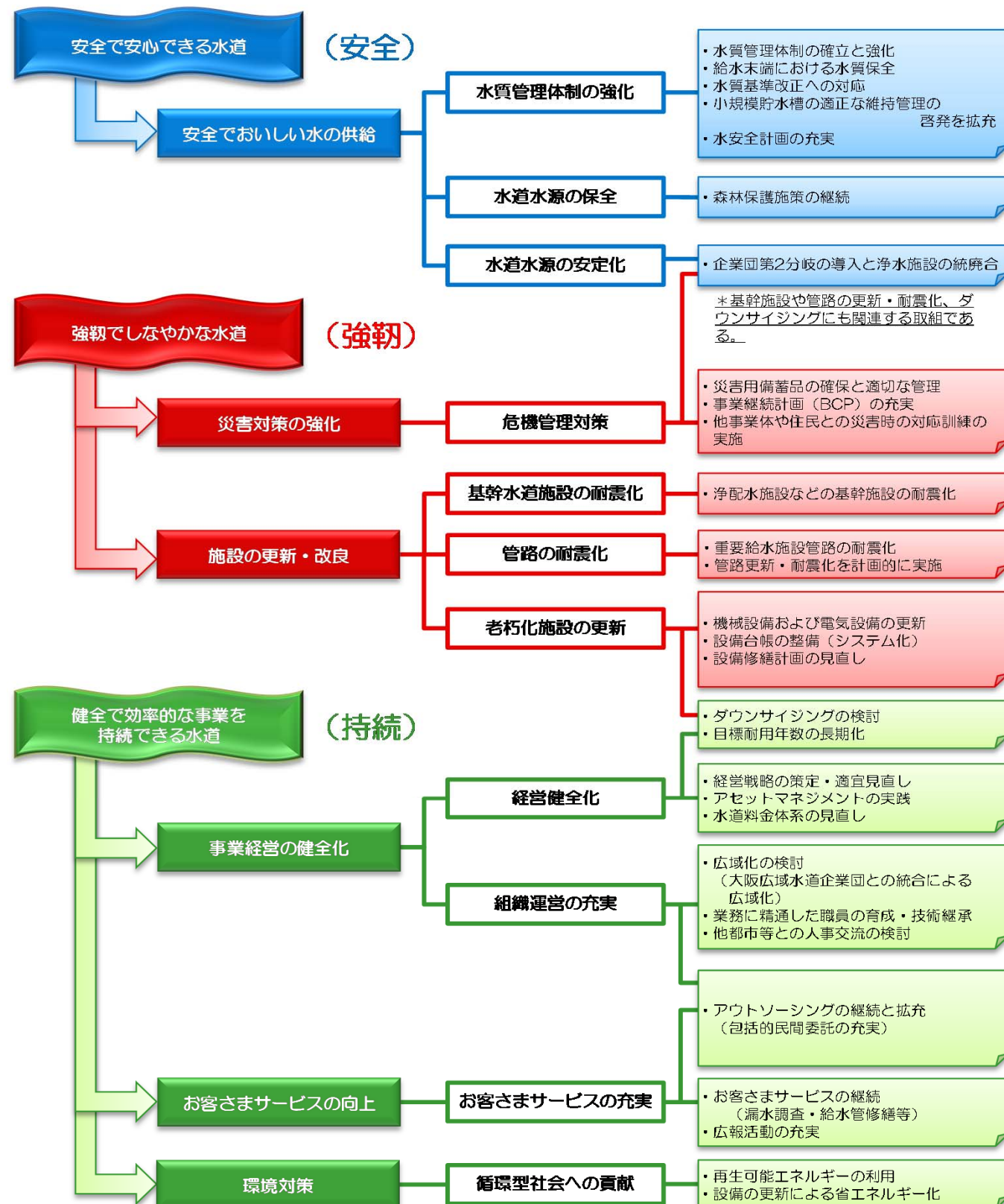


「河内長野市を支え続ける安心水道」

将来像

目標

具体的な取組み

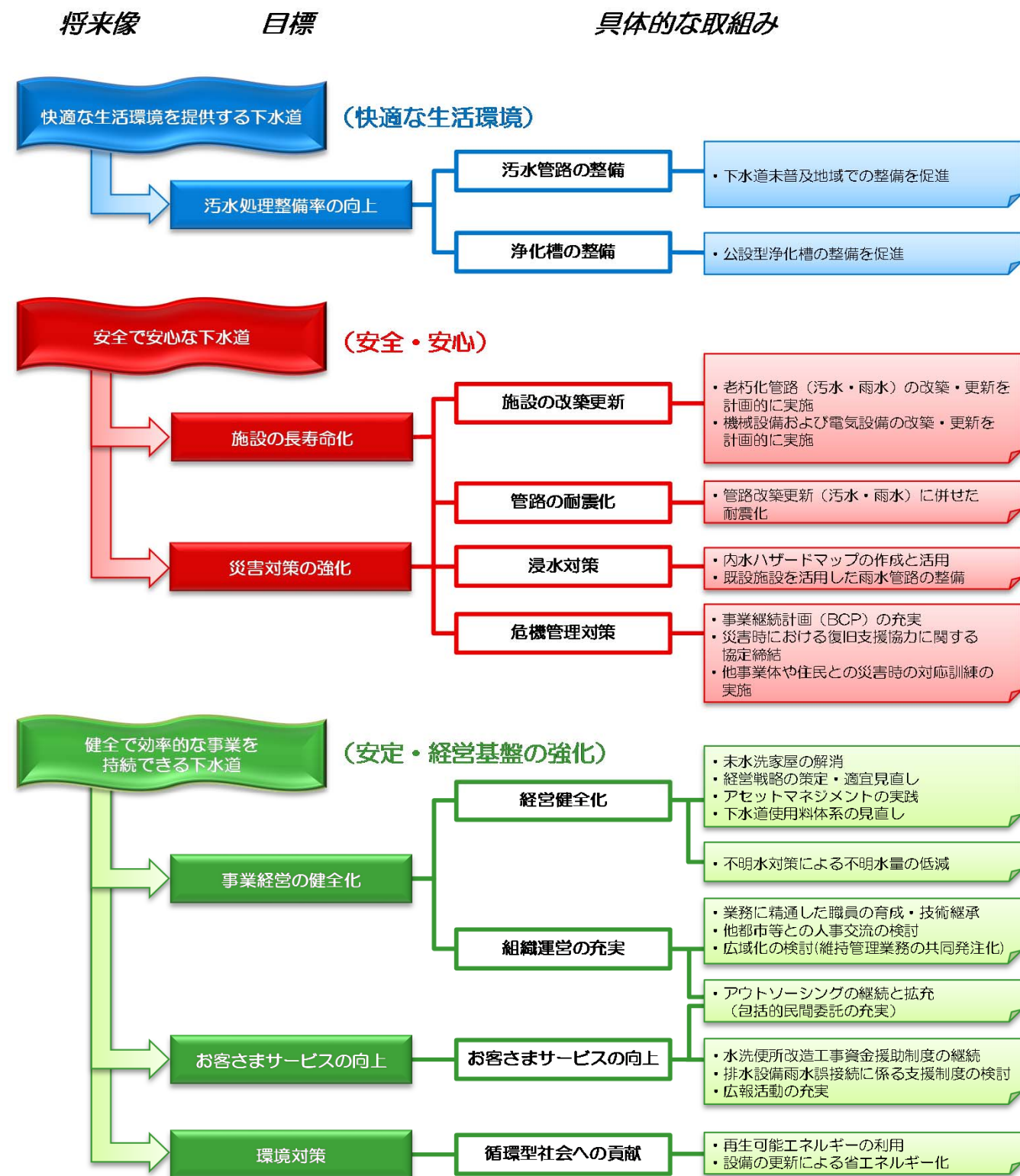


令和3年度の取り組み(案)

- 水質管理体制の強化
 - 水質基準の改正動向に注視し、河南地区の市町及び企業団と共同で水質検査機関（河南水質管理ステーション）の運営を行い、水質担当者会議等での情報交換を実施し、更なる水質の安全確認の強化を図る。
 - 鉛製給水管対策実施計画に基づき、鉛管の撤去を進める。
 - 小規模貯水槽の管理者向けに市広報・ホームページを通じて啓発を行う。
- 水道水源の保全
 - 「ゆたかな森林づくり基金」の有収水量に応じた負担金を見直し、水質基準改正への対策に係る事業の財源とする。
- 水道水源の安定化
 - 企業団からの第2分岐受水の導入に向けて、基幹施設となる西之山配水池への配管等整備の実施設計業務を行う。
 - 令和4年1月に三日市浄水場を休止する。
- 危機管理対策
 - 災害用備蓄品の確保について、市内世帯数の半数の確保を目標とし、給水袋を2,000袋購入する。
 - 災害時に備えた浄配水施設の非常用電源の設置を実施する。
 - 事業継続計画（BCP）を充実するため、段階的に内容を更新する。
 - 災害時の通信手段について、最適な手法を検討する。
- 管路の耐震化
 - 重要給水施設管路の耐震化として、西之山町地区の配水管約400mの耐震化を行う。
 - 管路更新・耐震化の計画的な実施について、3,600m（上記の400mを含む）の耐震化を行う。
 - ⇒ 目標：耐震化率27.0%
- 老朽化施設の更新
 - 電気設備の更新について、日野浄水場電気設備の更新工事をデザインアンドビルド方式により実施する。（R1～R3債務負担）
 - 千代田受水場の電気・機械設備の老朽化に伴う更新に向けた実施設計を行う。（予算繰越）
 - 水道施設整備計画に基づき日野配水池の耐震化の診断調査等を実施する。
 - 水道設備台帳の整備や固定資産の整理を行う。
 - 日野浄水場活性炭注入設備更新に伴う実施設計業務を行う。
 - 休止している深井戸を廃止し、撤去を行う。
- 経営健全化
 - 河内長野市上下水道ビジョンに掲げた具体的な取組みを着実に実施し、計画の進捗管理を行う。
 - 「ゆたかな森林づくり基金」の有収水量に応じた負担金を見直し、水質基準改正への対策に係る事業の財源とする。（再掲）
 - 令和4年1月に三日市浄水場の休止する。（再掲）
- 組織運営の充実
 - 最適配置及び経営シミュレーション案や水平連携の状況などを示し、企業団と統合する際のメリット・デメリットを整理し、方向性を示す。
 - 上下水道部内で、PTを設置し企業団と統合する際に整理すべき事項について検討を行う。
 - 近隣市と維持管理や水道料金徴収等の業務について、共同化等の広域的な連携について協議を進める。
 - 職員の育成・技術継承を行うため、職員研修（OJT）を実施する。
- 組織運営とお客さまサービスの充実
 - 上下水道料金徴収や水道施設運転維持管理の包括的民間委託の受託者を適正に管理するためのモニタリング技術を向上させ、バランスのとれたスリムな事業運営とお客さまサービスの向上に努める。
 - 上下水道料金徴収や水道施設運転維持管理等の包括的民間委託の次期業務実施に向け、業務内容の拡大や近隣市との連携の可能性を検討し、準備を行う。（債務負担行為）
 - 市広報紙11月号（予定）にて「水道事業の企業団との統合に向けた考え方について（仮）」掲載するなど広報活動の充実に努める。
- 循環型社会への貢献
 - 日野浄水場電気設備更新によりエネルギー使用効率の良い設備導入を図る。

「河内長野市を支え続ける安心下水道」

令和3年度の取り組み(案)



- 汚水管路の整備
 - ・公共下水道の未普及地域である小山田町・高向・加賀田地区などの汚水管渠を約4,000m(予定)整備する。
 - 浄化槽の整備
 - ・生活処理排水計画の変更により、新たに個別処理を推進する区域になった地区において公共浄化槽設置の説明会を行う。
 - ・公共浄化槽の普及啓発を図り、天野、下里地区などで浄化槽を14基整備する。
 - ・個人設置型浄化槽3基の帰属を受ける。
- ⇒ 目標：污水处理整備率95.8%・水洗化率96.7%

- 施設の改築・更新
 - ・長寿命化対策として、ストックマネジメント計画に基づき、千代田南町・南花台・旭ヶ丘地区の汚水管渠の実施設計と約400m改築・更新をする。
 - ・ストックマネジメント計画に基づき、滝畑浄化センター計器・設備(返送汚泥流量計)を更新する。
 - ・次期ストックマネジメント計画の策定に向け柳風台・荘園町・緑ヶ丘地区の汚水管渠を対象に本管カメラ調査をする。
- 管路の耐震化
 - ・千代田南町・南花台・旭ヶ丘地区の汚水管渠を改築・更新により耐震化する。
- 浸水対策
 - ・内水ハザードマップにおいて浸水が想定される区域で、豪雨災害の恐れがある場合、事前に雨水施設の確認を行う。
- 危機管理対策
 - ・大阪府と災害時における情報伝達訓練を実施する。
 - ・事業継続計画(BCP)の充実するため、段階的に内容を更新する。
 - ・災害時における避難所の生活衛生の確保を行うため、マンホールトイレの整備について3箇所の施工を行う。(危機管理課と連携)
 - ・災害時に備えたマンホールポンプ等の電源確保策の検討を行う。
 - ・災害時の通信手段について、最適な手法を検討し予算化する。

- 経営健全化
 - ・未水洗家屋や事業所を個別に訪問し、下水道への接続啓発を引き続き行う。
 - ・河内長野市上下水道ビジョンに掲げた具体的な取組みを着実に実施し、計画の進捗管理を行う。
 - ・不明水量の低減を目標とし、管のクラックや破損からの浸入水については補修するとともに、不明水に係る調査を実施する。
 - ・流域下水道の維持管理負担金が年々増加しているため、負担金のあり方について大阪府と引き続き協議を行う。
 - ・マンホールポンプの維持管理を効率的に運用するため、B-DASH事業に引き続き自主研究を行う。(R3からR5まで)
 - ・上原・高向地区の開発に向けて事業計画等の区域変更を行う。(都市整備課と連携)
- 組織運営の充実
 - ・職員の育成・技術継承を行うため、職員研修(OJT)を実施する。
 - ・使用料徴収業務や維持管理業務の包括委託に委託について、他市との広域的な取り組みを検討していく。
 - ・水道事業の企業団との統合検討を進める中で、PTで統合後の下水道事業の組織体制等の課題整理を行う。
- 組織運営の充実とお客さまサービスの向上
 - ・下水道管路施設の包括的民間委託を市域全域で実施し、下水道管路の維持管理体制の効率化を図る。
 - ・令和4年度から第2期下水道施設の包括的民間委託を実施するため業者選定を行う。(債務負担行為)
 - ・下水道管路施設と下水道施設(浄化センター・ポンプ場)の包括的民間委託の受託者を適正に管理するためモニタリング技術を向上させ、バランスのとれたスリムな事業運営とお客さまサービスの向上に努める。
- お客さまサービスの向上
 - ・未水洗家屋の解消の取り組みの一環として、水洗化の啓発を行うとともに、水洗便所改造工事資金援助制度を継続と制度の周知を図り、お客様サービスの向上に努める。
 - ・市広報紙11月号(予定)にて「水道事業の企業団との統合に向けた考え方について(仮)」掲載するなど広報活動の充実に努める。
 - ・下水道台帳システムをインターネット上で閲覧可能とし、利便性を向上させる。(都市計画課と連携)